

目白大学新聞



編集
目白大学社会学部
メディア表現学科
〒一六八五三九
新宿区高円寺一丁目
TEL
〇三・五九六・一三三〇

タバコ喫煙にマナーを！

現在、目白大学では学生達の喫煙マナーの悪さが問題になっている。設置されている喫煙所を十分に利用せず、喫煙場所でもない1号館に隣接したテラスへの通路で煙草を吸う学生があまりにも多い。「たばこは喫煙室で！」という注意書きがあるにもかかわらず、通路上は煙草の吸殻や灰が散乱し、衛生状態や景観を損ねてしまっているのが現状である。目白大学では去年から改修を行い、今まであった喫煙所を撤去している。大学は学内禁煙をも視野に入れているようだ。

全面禁煙化か、それとも学生の喫煙マナーの改善か。そこで本紙の記者で学内全面禁煙反対で喫煙所増設を望む喫煙者と、マナーの早急改善を訴える非喫煙者がそれぞれの意見を寄せた。

ポイ捨てやめるべき

喫煙をする際は人として最低限のマナーとモラルは守って欲しい。喫煙所にまだ空きがあるのに、服に臭いがつくのが嫌だ、他人の副流煙を吸うのが嫌だという理由で通路で吸ったり、さ



昼休み中、テラスの通路でタバコを吸う学生

らにはトイレで吸う学生も見かける。また、多くの学生が携帯灰皿を持たずにそのまま通路にポイ捨てをしているのも目立つ。これではあまりにもマナーがなっていない。清掃する方の身にもなって欲しい。こんな状態では吸う場所がないからというの、もはや自分を正当化する理由にすらなっていない。こうした行為がますます自分たち喫煙者の肩身を狭くしていることに気づいて欲しい。喫煙者は決してマジョリティではないのだ。他人の迷惑を顧みない行為は即刻改めてもらいたい。（編集部 塩谷裕矢）

喫煙所はなくていいの

現在目白大学にはテラスの中と7号館の二つの喫煙所しかない。以前は1号館、10号館のベランダ、外のベンチにも喫煙所があった。だが、徐々に喫煙所は削除され、それに伴い、喫煙者のマナーも悪くなっていったのではない。テラスの中にある喫煙所は特に人が集まり、お昼時や休み時間には人が溢れ室内に入らず外で吸う人が増えてしまった。外には灰皿がないため、ポイ捨てをする人がいる。そのためテラスの周りが汚くなり、煙が外を歩く非喫煙者の迷惑になっている。私も喫煙者であり、毎回テラスの喫煙所を使う一人である。

ポイ捨てされた吸殻を掃いている方の姿を見ると心が痛む。しかし、この喫煙所の状況を間近で見ていると、喫煙者のマナーだけが問われているとは思えない。確かに喫煙所にゴミをそのまま置いていたり、喫煙所に人が少ないのに

外で吸う人もいるが、喫煙者の中にはそのような人ばかりではない。喫煙所をきれいにしてくれる方と仲良くしている人も多く、ポイ捨てをしないために携帯灰皿を使う人もいる。また、「外に灰皿をおけばいい」「喫煙所を増やせばいい」という声もある。私たち喫煙者もこの状態はよくないと思っている。喫煙者たちはもう一度、自分たちの喫煙マナーを見直し、同時に学校側にはこのような現状を理解し、早急に問題に対応していただくことを求めている。（編集部 中原ひとみ）

新宿キャンパス 学務部長 学生担当
松本逸也先生のコメント

『目白大学のタバコ問題について』

以前まであった1号館1階の喫煙所を廃止したのは、あそこでタバコを吸うと煙が上にあがって、上階の短大製菓学科にもすごい迷惑になっていたからだ。味が変わってしまうということだった。それで学科から止めてくれと要請があった。

タバコを吸うということは、自分一人の問題ではない。周りを巻き込んで、自身だけでなく、他人にも害を及ぼしている。そのことを理解している人が少ないように思う。法律でタバコを吸う行為は禁止されてはいない。だからどこでも吸ってもよい、という考えは少し身勝手ではないか。そこにモラルというものはないのか。最低限のマナーさえ守れないのであれば、それは当然のように禁止にするべきだろう。

今、公道、映画館、レストラン、電車、などはすべて禁煙になっている。すべて公共の場だね。大学も公共の場であるはず。大学も世の中の一部だ。そう考えると、禁煙というのも時代の流れであり、目白大学も完全禁煙にするべきだと思う。

秘トンネル発見?! 踏切を渡らないで通学! 詳しくは4面に

あなたの夢は？

今日、世の中では就職氷河期と言われている。そんな中、目白大学の学生は将来に対してどのような夢を描いているのだろうか。そこで、目白大学の新宿キャンパス・岩槻キャンパスの学生に「あなたの夢は」というテーマで、学生達の様々な夢を聞いてみた。以下ランダムに掲載した。

（編集部 梶理恵子）



岩槻キャンパス 学務部長 学生担当
前島 徹先生のコメント

岩槻キャンパスでタバコを吸う学生のモラルはきちんとしています。歩きタバコやポイ捨ては周りの人を不愉快にさせますが、私は岩槻キャンパスで不愉快に思ったことはありません。学生も教員も7カ所ある喫煙場所できちんと吸っています。

医療を目指している学生だからということ、学生数が少ないということ、女学生が多いということ、キャンパスは広くても学生の歩く導線のちよつと横に喫煙場所があるということなどが喫煙のモラルが守られている原因なのかもしれないませんが、何より吸っている学生の分煙の意識がしっかりしているのです。これからは続けてほしいものです。

喫煙場所で先生と学生、そして学生同士が共にタバコを吸いながら楽しく語りあっている様子を見ると、もう吸うことはなくなった私も再びタバコを吸ってみたい気持ちになります。今はタバコを吸う人にとっては居場所が狭くなりました。タバコは勧めませんが、どうせ吸うならモラルを守って楽しくタバコを吸って欲しいと思っています。



就職必勝法——「ちよつと光っていればいい」

就職氷河期の中、のべ1万人以上の就活生を指導し、内定獲得に尽力してきた森吉弘先生が、今年の4月から目白大学でも講義を行っている。主に3年生を対象とした「キャリアデザインVCコース」や3年生の希望者を対象とする「熱血就職塾」だ。そんな森先生にお話をうかがった。

——始めに、目白大学の感想をお願いします？

正直すごく表情の良い学生が多いと思います。講義を聞いているリアクションなんかを見ていると、すごく受け入れてくれるし、学びたいという雰囲気があります。就職活動は主に3年生からですが、1・2年生のうちから何か出来ることはあります。少なくとも2つあります。まず一つは、自分の経験値を深く、広くしておくこと。つまり世間を知っておいた方がよい。もう一つは、大人と真剣に遊ぶことです。その大人とは、社会に出て真剣に生きている人たちのこと。真剣って何かって言うとうるさく意識を持って働いている人たちのことです。どこでその大人と出会えばいいのですか。

声をかければよい。新幹線に乗ったら隣の人に声をかければよい。さまざまな人に出会えます。声をかけてみて、不機嫌そうな顔をしたらやめればよい。大人をナンパする。就職活動に学歴は関係ありません。でも、大企業などごく一部は関係ある。ほとんどの人は、一番気にしているのは、本人たち。そこが問題。もし、学歴が関係あるのなら、東大生の就職浪人はでないよね。でも、例えば面接に行つて両隣が早稲田と慶応だったら萎縮しちゃったりして、自分の実力を発揮できないことがある。もし企業が目白大学の学生を呼ばないよ。つまり、面接に目白大学の学生を呼ばないよ。つまり、「あなたの人間性を見たい」とつて企業が言ってくれているわけだよ。



森 吉弘 Mori Yoshihiro
就活道場「森ゼミ」代表。1967年生まれ。慶応義塾大学経済学部卒。元NHKアナウンサー。在学中より就活道場「森ゼミ」を主宰、活動は今日に至る。2008年NHK退局。経済産業省の「社会人基礎力」や、文部科学省の「再チャレンジ事業」にも携わり、多くの学生や社会人を育成。現在、帝京大学や大阪産業大学など本学をはじめ6つの大学で教えている。著作：『就活必携』『よくわかる森式就活完全ガイド』など多数。
HP www.morisemi.com



最後にアドバイスがあればお願いします。2点ある。「あんまり大きく頑張ろうとしないこと」例えば、マザーテレサの孤児院に、半年間インターンシップで行くとかまたは世界旅行好きだったら、40ヶ国くらい行くとかね。別にそんなものは就活に絶対不可欠ではない。それよりも何が大事かって言うとなんか少しづつ頑張ること。例えば、本当に語彙が少なければ、天声人語と社説を毎日写すとか。もう一つは「人と違うことをしましょう」とつてこと。例えば、アルバイトで掃除を日課とする。店の前だけじゃなく、店の両隣3軒も掃除しちゃう。そのうちに声をかけられたりして、人間関係が広がる。きつとなんか新しい世界が生まれる。ちよつと人と違うじゃない。企業も勝手だからさ、他の学生と違う学生が欲しいわけですよ。光る何かが。それがダイヤモンドか金か、鉄かなにかわからないけど、なんでもいいんですよ。光っていれば。別にダイヤモンドばかりいらんないんだから。ちよつと光っていればいい。ちよつと人と違うことをやればいいの。それを1年生2年生のうちから考えて、やつていく。それが力になっていくはずだから、是非頑張つて欲しい。(編集部 中山雄介)

就職のための英語力UP!

「Action English」という授業をご存知だろうか。

実はここ、目白大学では授業の一環で海外留学ができる。その授業が「Action English」だ。長期休みを利用して英会話の習得を目的とした、約1ヶ月間の短期留学をする授業である。学部学科関係なく履修することが出来る。毎回この授業では、マイカ・ボックス先生のユニークな勉強方法で英会話と外国人とのコミュニケーションのとり方を学ぶ。そして、春学期なら夏休みにカナダ、秋学期なら春休みにオーストラリアで、約1ヶ月間ホームステイをしながら学校に通い英会話やその土地の文化を学ぶ。料金は履修する年、学期によって異なるが約50万円程である。

私も、1年の春休みにオーストラリアへ5週間留学した。私の通った学校では、韓国、タイ、ベトナム、スペインなど多国籍の留学生たちが集まっていた。そのため、オーストラリアの人だけでなく様々な国の人と仲良くなる事ができた。月曜日から金曜日まで学校に通い、授業は勉強だけでなく、映画を見たり、スポーツをしたり、時にはクラスで海に行きBBQをしたりと交流を目的とした時間もあつた。私がいたクラスには、日本人が多かったがタイ人とベトナム人、アラブ人がいた。最初は英語を話してもなかなか通じず、日本人同士で話すばかりだった。しかし、少しずつ発音の違いがわかるようになり国籍に関係



クラスメイトと記念写真 (手前左より2番目が筆者)

なく仲良くなった。週末はホストファミリーと、クイーンズランドや動物園、クラブ、グレートバリアリーフなど様々な場所へ行った。英会話には自信がなかったが、現地の方と話すにつれ聞き取れるようになり、観光と共に英会話の向上だけできなく、日本ではできない多くの経験をする事ができた。初めての留学だったが、この留学で自信を持つことができた。海外留学をしたいと思いつながらなかなか決意できない方、英語は苦手だけど海外に行つてみたいという方、是非「Action English」を履修してみてもいいだろう。(編集部 中原ひとみ)



あなたの夢は何ですか? *OT: 作業療法士 *ST: 言語聴覚士



① 洋菓子工房「KENZO」

東西線、落合駅を降りてすぐ、山手通りにある洋菓子店「KENZO」では手作りどこか優しい洋菓子が味わえる。店内に入るとまず目に映るのは、ショーケースに並ぶ種類豊富なケーキ。苺のショートケーキやモンブランなどのクラシックなものから、暑い季節に人気のゼリーやムース系の冷菓まで。値段も手頃でついたくさん買いたくなる。他にもチョコレートやブラウニー、焼き菓子もすべて手作り。

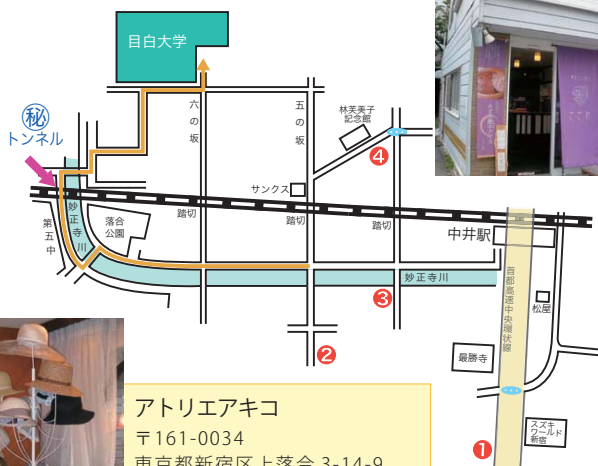
お店を仕切るのは店長の大橋健蔵さん。この仕事をはじめて40年にもなるという。もともと

と父親が菓子作りを営み、食べた当時はまだ貴重だった生クリームの味に感動してこの道に進んだ。「そのときの感動をお客さんに味わってもらいたくて、毎日丹精込めて作っています。」

健蔵さんの奥さんが作る手書きのメニューポップも店の暖かい雰囲気の一役かっている。

洋菓子工房 「KENZO」

〒161-0034
東京都新宿区上落合 3-8-23
TEL 03-5330-6626
営業時間 10:00~21:00



② Atelier.A アトリエアキコ

落合駅から通学している学生ならかならず見たことはあるだろう、このアトリエアキコ。実は老舗の帽子屋で、天皇后両陛下の帽子作りを担当したこともある経歴を持つ。店内のギャラリーにはこれまでに作られた帽子が数多く展示されている。中には50年以上前に作られた珍しい帽子も。

アトリエアキコのこだわりはオーダーメイド。お客に満足してもらえるように、デザインから、素材選び、縫製、ひとつひとつの工程をお客の要望と照らし合わせ納品している。

父で先代の代表である市瀬廣夫さんから8年前に店を受け継いだ市瀬晶子さん。毎年全国の百貨店でオーダー会、トークショーを行っている。



アトリエアキコ

〒161-0034
東京都新宿区上落合 3-14-9
TEL 03-3368-6225
営業時間 10:00~17:30
定休日 第1・3土曜日/日曜日/祭日

そこでその人にいちばん合う帽子を紹介している。

「最初はみなさん、帽子が似合わない、どう被ったらよいのかかわらないと、帽子を被ることを敬遠しているようです。でもその人に合う帽子を紹介することで、帽子に興味を湧き、被りたくなるんです。オーダーメイドで注文されたお客様もとても満足されています」

ここで帽子が気に入り、何十年来の付き合いがあるお客もいるという。

③ 薄皮たい焼き『さざれ』

妙正寺川沿いに去年オープンした薄皮たい焼き『さざれ』。納得のいくたい焼きを作るべく、店主自ら生地、餡を探し歩いた。北海道産の小豆100%で作られた餡は繊細かつ上品な甘さ。薄く焼かれた生地はサクッと香ばしい。一匹一匹焼きいろが違っても、手作りの味わいをかもしだす。

メニューはつぶあん、大つぶあん、カスタード、紫いもあんの4種類。カスタードクリームは目白大学の子学生からのリクエストで考案。さらに小豆を自家製アイスにして、最中で挟んだ「あずき最中アイス」も人気を呼んでいる。たい焼きに合う和茶も多種用意されているのもうれしいところ。



薄皮たい焼き 「さざれ」

〒161-0034
新宿区上落合 3-15-1
TEL 03-3365-5213
営業時間 11:30~19:00
定休日 毎週月曜日

たい焼き 各150円から
アイス 200円

中井探訪

(編集部 青木一平)

④ ガーデンコテージ「ら・ら・ら」

中井の住宅街でひととき存在感を放っているのがこのガーデンコテージ「ら・ら・ら」。ヤシの木などの南の木々であふれる外観は、まるで南の島にいるかのような錯覚を起こす。

オススメは南国から直輸入のフルー

ツジュース。種類はマンゴー、パイナップル、グアバ、ココナッツの4種類。天気の良い日に訪れて、南国気分を味わうのはいかがだろうか。



ガーデンコテージ「ら・ら・ら」

〒161-0035
東京都新宿区中井 2-20-1
TEL 03-3950-5072
定休日 毎週月/火曜日
(フルーツジュース各4種類 380円)

編集後記

自分たちで一から記事のネタを考え、取材をして、記事を書くことがこれほど大変だとは！よい体験でした。(編集長 青木一平)
新聞制作にあたり初めてづくしの挑戦でしたが、とてもいい経験ができたと思います。(大澤直人)
企画から取材まで自分達で行い、大変なこともありましたが作り上げることができて良かったです。学生の夢にぜひ注目してほしいです。(梶原恵子)
トンネル記事を書いて、人の知らない情報を伝える新聞の醍醐味を味わうことができました。(塩谷裕矢)
岩槻キャンパスでの取材を通して、岩槻の学生と交流できたことが一番の思い出です！(中山雄介)
記事を書くということは、人の話す言葉や目に見えるモノを文字に置き換える作業。伝えることの難しさを体感できて良かったです。(渡邊裕也)
長い時間をかけた記事がボツになったときはショック。でも自分の書いたものが新聞になるって感動です。頑張ってたかったです。(中原ひとみ)

かがだらうか。

がだらうか。

がだらうか。

がだらうか。

がだらうか。

がだらうか。

がだらうか。

しかし、皆さんはご存知だろうか？踏切を渡らずに大学にいける方法を。この情報をつかみ早速、周辺を探索してみることになった。まずは中井駅から妙正寺川沿いを五の坂前の踏切を渡らずに直進し、さらに六の坂前の踏切も渡らずに直進していく。すると落合公園が見えてきた。その公園から目の前の川を渡り、中学校の外周を歩いていくと、線路の下を通る道が続いているではないか。電車が通過する中、その下のトンネルを通り見事踏切を渡らずに線路を越えることができた。後は右に見える坂を上り、大学の外周に沿って歩いていくと馴染みの正門に到着。中井駅からここまで徒歩12分。踏切を渡るよりも遠回りになる分時間はかかるが、立ち往生するよりはマシだろう。皆さんもぜひ使ってみてはいかがだろうか。

さて、話は変わるが、現在目白大学では通学時の学生のマナーの悪さが問題になっている。大学側には毎日のように苦情が届いている状況である。その原因の一つに五の坂の集約的な利用が挙げられている。その問題を踏まえて新たな選択肢として落合南長崎駅の利用を挙げてみよう。都営大江戸線落合南長崎駅は都営大江戸線中井駅から2分、料金は170円。駅の近くには学生には嬉しいローソンとマクドナルドがある。ここから大学までは徒歩10分、踏切も坂もないので中井駅よりもある意味楽かも知れない。都営大江戸線沿いに住んでいる人は利用してみるのはどうだろうか。もちろん、こちら側でもマナーを守った通学を心がけよう。(編集部 塩谷裕矢)

皆さんは朝の通学時に踏切につかまり、講義の時間に遅刻してしまった経験はあるだろうか？1時限目の講義前は電車の通過数が多く、うまくタイミングを計らないといつまでも踏切前で立ち往生する結果になってしまう。特に雨の影響などでダイヤが乱れると30分以上待たされてしまうことがある。せっかく早起きをしてのもこれでは意味がない。



これが!? ⑥トンネルだ！(上の地図参照)

踏切秘攻略術！